

授業科目コード	0510400	授業科目名	地域観光論		担当教員名	中島 智
対象学部・学科		分野区分	学年	単位数	学期	曜日・時限
			2	2	後期	
ディプロマポリシー						
DP1-2 経済・経営、国際英語、観光、スポーツのいずれかの分野での専門的な知識を修得している。						
レベル3 修得した専門的知識を活用して、様々な社会の現象を説明したり問題点を指摘できる。						
授業のテーマ						
人口減少や情報化の時代にあつて、人々の価値観は多様化し、旅行者主導の新しい観光が隆盛しています。その一方で、国や地域社会では、観光を活用したまちづくり・地域づくりが重要な課題になっています。本授業では、観光まちづくりの考え方を基本において、様々な地域観光の形態や構造の事例を考察し、観光と地域社会の関係性について理解することを目指します。						
授業の到達目標						
到達目標1	・観光と地域社会の関係性を念頭に置きながら、地域活性化の手法として観光を考えられる					
到達目標2	・観光まちづくりの現状と課題についてフィールドワークに基づいて考察することができる					
到達目標3						
受講上(授業外学習含む)の注意点						
授業内外で、受講生が地域や現場の人々と出会う機会をつくっていきたくと考えています。実際の観光まちづくりに参加し、積極的に学びたいという意欲のある人を歓迎します。また、条件が整えば、地域連携活動として学外研修にも取り組む予定です。なお、下記の点に留意してください。						
(1) 授業外時間も含めて、レポートや発表に向けた課題を個人やグループで積極的にできる人に限ります						
(2) 課題作成・発表で使用するため、旅行雑誌を購入して下さい。詳細は、授業内で事前に指示します						
(3) 課題作成・発表で使用するため、各自でUSBメモリを買って、授業にも持って来て下さい						
関連科目						
【履修を済ませていることが必須の科目】						
【履修していること、履修することが望ましい科目】 「観光学入門」						
教科書・参考書など						
【教科書】 高柳直弥・太田実・中島智編著『新時代の観光を学ぶ』八千代出版、2019年						
【参考書】 谷口知司・福井弘幸編著『これからの観光を考える』晃洋書房、2017年 井口貢編『観光文化と地元学』古今書院、2011年 谷口知司編『観光ビジネス論』ミネルヴァ書房、2010年						
授業計画						
回数	項目	内容(予習復習指示などを含む)			使用資料	
1	オリエンテーション	授業のねらい・ゴール・進め方・ルールの共有(授業計画及び成績評価方法の説明、履修上の注意)			レジュメ(11回目まで)	
2	旅行スタイルの変化と観光政策の動向	旅行者主導の観光の隆盛について知るとともに、そうした観光を活用したまちづくり・地域づくりの動向について学ぶ				
3	観光まちづくりとは何か	人口減少・地域コミュニティの衰退・情報化の進展といった社会背景についての理解を深めながら、地域資源が再発見・再評価され、観光まちづくりが展開していくプロセスについて学ぶ				
4	観光まちづくりへの多様なアプローチ(1)持続可能な観光	エコツーリズムの概念・理論について学ぶ				
5	観光まちづくりへの多様なアプローチ(2)環境と観光	エコツーリズムの事例・実践について学ぶ				
6	観光まちづくりへの多様なアプローチ(3)農村と観光	グリーン・ツーリズムの概念・理論について学ぶ				
7	観光まちづくりへの多様なアプローチ(4)6次産業としての観光	グリーン・ツーリズムの事例・実践について学ぶ				
8	観光まちづくりへの多様なアプローチ(5)芸術と観光	ミュージアムマネジメントとアートツーリズムについて学ぶ				
9	観光まちづくりへの多様なアプローチ(6)「ご当地もの」と観光	B級グルメ、ゆるキャラ、ローカルヒーローなどについて学ぶ				
10	観光まちづくりへの多様なアプローチ(7)情報社会と観光	アニメ聖地巡礼の事例を通して、コンテンツツーリズムについて学ぶ				

授業科目コード	0510400	授業科目名	地域観光論		担当教員名	中島 智
対象学部・学科		分野区分	学年	単位数	学期	曜日・時限
			2	2	後期	
11	観光まちづくりへの多様なアプローチ (8) 観光資源としての動物	動物とのふれあい体験の事例を通して観光資源としての動物の可能性について考える				
12	地域の固有価値と観光まちづくり	これまでの内容を踏まえつつ、固有価値を生む地域資源の実現プロセスや、そうした地域資源を活用した観光まちづくりの要諦について学ぶ				
13	発表「身近な地域観光」(1)	身近な地域観光について発表を行い、受講生全員で議論する		受講生の作成したレポート及びパワーポイント資料		
14	発表「身近な地域観光」(2)	身近な地域観光について発表を行い、受講生全員で議論する		受講生の作成したレポート及びパワーポイント資料		
15	まとめ	15回全体を総括し、今後の地域観光のあり方を展望する				
16	試験					
成績評価基準						
成績評価基準項目		内容等			評価割合	
レポート 発表 試験		<p>授業内容をヒントに課題について調べ、理解を深めた上で、自分なりの意見や提言等をまとめてもらいます(文字数：1500字程度)。課題の詳細は授業時に指示する。</p> <p>なお、当然のことながら、ウェブサイトからコピー&ペーストしたものや、文献から他人の文章・資料について出典を明示せずに記載したものは採点しません。14回目に発表を行います。詳細は授業内で事前に指示します。授業内容に関する論述形式で行う予定です(教科書や講義録等の資料の持込可)。</p>			40% 20% 40%	
特徴ある授業方法		受講生は、身近な地域でフィールドワークを行い、レポートを作成します。また、その成果をパワーポイントを使って、発表してもらいます。				
学生への連絡事項		地域観光というテーマは、地域における問題発見とその解決が重要な課題になります。したがって、受講生は積極的に地域に飛び出して資料収集、参与観察を行うことが望まれます。				